

## WA からのお知らせ



### 一ノ谷プラザに植栽

一ノ谷プラザ東・北側のフェンス沿いに昨年末、ベニカナメ、ライラックなどの生垣が完成しました。県の緑化事業として認められ、補助金79万円で40㎡にわたって3種類139本の幼木が植えられました。

「枯らさないように、水やりをしっかりとやって立派な生垣に育てます」と世話役の上田市夫さんは話しています。閉鎖中だった1階のトイレも神戸マラソンに合わせて水漏れなどの修理が終わり、利用できるようになりました。

### ●家庭内事故の予防で講演会

グループ〈わ〉は1月16日のジョイラックデーに学習室1・2で、2つの講演会を開催します。

①「家庭内の事故予防」（10時30分～12時）。講師は神戸市北消防署救急係長・堤哲也氏。高齢者の転倒・火傷・脳出血・熱中症など不慮の事故を防ぐにはどうしたらいいのか、を学びます。

②学校支援者の集い（13時～16時30分）。「神戸っ子応援団の現状と支援ボランティアに望むこと」をテーマに、市教委担当者の講演と自由討議。

●震災を考える講演会 1月18日（金）10時半から、カレッジホールで。▽「災害時に取り残されないために」相川康子（NPO政策研究所専務理事）▽「東日本大震災と私」池添麻奈（元福島県富岡第二中教諭）。生活環境の合同授業だが、聴講歓迎。

●学園祭から寄託金 第18回学園祭で実行委員会とグループ〈わ〉が共同で実施した東北支援募金の一部、2万5千円が配分金として〈わ〉に寄託されました。賛同くださった皆さまにお礼申し上げます。

●2グループに補助金 2団体から10周年記念行事への補助金が申請され、マジッククラブ（森田明朗代表）に3万円（9月）、コーラス・タルミ（相馬博代表）に5万円（10月）が支給されました。この補助金は、傘下の団体が10周年などの事業をする際、申請にもとづき費用の3分の1以内で補助するものです。

●滝谷ホームの見守り 軽度知的障害者施設・滝谷ホーム（長田区滝谷町）で、夜間、入寮者のお手伝いをしませんか。月・火・水は20時～9時。土は17時～9時。ホームの生活指導員から引き継ぎをうけ、翌朝の起床・食事・出勤までを見守るのが仕事です。交代制で1人月1～2回担当。交通費は出ないが1回6800円～8000円の手当てがあります。神鉄長田駅から8分。市バス150系統滝谷町すぐ。駐車場あり。問い合わせは堀内昭（食6）TEL592-9297まで。

●62号（4月号）の発行は2013年4月中旬です。

〈わ〉のメルアド＝わ本部 group\_wa@wa-net.jp

## つぶやき

### ぴんぴんコロリ

最近、テレビ・新聞で国民の医療費総額が急速に増加していることが取り上げられている。中でも高齢者の医療費が40数%に達し、何とかしなければ、といわれながら具体的な

方策を提言する人が少ない。倫理的には高齢者や命ある者は尊厳の対象であるが、「自分の事を自分で出来なくなっている人」は、なかなか厄介な存在である。

医療の進歩が「人間の自然寿命」を阻害し、無益な延命になっていないだろうか。カレッジの授業で、健康で長生きすることの大切さを教わったが、加えて、医療の利用の仕方や延命についても考えを変えなければ、高齢者医療費の抑制には繋がらない。

医療と倫理のせめぎ合いの問題ではあるが、私は「安易な延命処置の禁止」と「尊厳死の許容」を提唱したい。実現までには時間がかかると思うので、せめて「ぼけ封じ霊場巡り」や「ぼっくり寺参り」に出かけようか、と思う今日この頃です。

（池田惇 生環15・垂水区会）

## 編集後記



★あけましておめでとうございます。

東北支援活動も3年目を迎えます。仙台の豊齢学園と「一緒にやろう」との話が進んでおり、七夕教室とか料理教室とか、新しい展開が期待できそうです。2回目の東北支援報告会は盛況でした。女川から招いたゲストの話にじーんときた、胸が詰まった、という声を聞きました。東北物産の販売も皆さまのおかげで想定外といえるほどの成果があがりました。

★3年かけて進めてきた本誌のリニューアル。カラー化・情報量・読みやすさなど、読者の皆さまにまずまず支持されているようです。パソコンを持つ会員が増えるとともに、ホームページへの関心も高くなっています。内容充実に努め、より親しまれる会報をめざします。

★シルバーカレッジは創立20周年。阪神大震災の復興と軌を一に歩んできた歳月を顧みて、次のステップへ踏み出す年でもあります。〔再び学んで他のために〕の精神を受け継ぐ、夢のある記念行事・プラン策定もスタートしました。次号には具体的な内容をご紹介しますと思います。（広報・南形徹）

ぎやらりーわ wa\_gallery@wa-net.jp